

カトリック山形教会の皆様、お元気にお過ごしですか？

カトリック山形教会でも、今までは毎週日曜日にミサへの参加を通して、直に顔合わせが出来たことで、信徒の方々の安否や健康状態、生活状況などの確認がコロナ禍に於いても、ある程度は可能でした。しかし今の現況、信徒の皆様の流れを止めてしまった中で、その安否や状況の把握が非常に困難となっています。連絡が届く方への様々な確認は何とかなるのですが、連絡がなかなか難しい方々を含めて、高齢の信徒の方、独居状況にある方、何かの支援を求めようにも声を出せないでいる信徒の方などが、皆様の身近におられるようでしたら是非、気を留めて戴けたらと思います。典礼聖歌 400 番でしたか「小さな人々の一人一人を見守ろう。一人一人の中にキリストはいる」のです。そのような方をご存じの方がいましたら、お一人で悩まないように、勇気をもって声などを出してもらえたらと思います。

コロナ禍が続きます。その中で神様は何に気付くよう、私たちに求められるのでしょうか。何を具体的に実践する事でイエスの御心を果たすように願われるのでしょうか？コロナ禍の状況だからこそ、互いに愛し合うこと、お互いのために祈り合いながら、それを問い続けつつ、信仰に於いてやるべき務めを実行していきましょう。祈りの中でキリストと深く結ばれていけますように。

山形教会主任司祭
ROMO SRI WALUYO, SSCC
ワルヨ神父